

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

### 1. 今後の見通し

予測期間: 2009年11月上旬から12月中旬までの旬別  
 対象海域: 道東海域、三陸海域、常磐海域  
 対象漁業: さんま棒受網漁業  
 対象魚群: 南下回遊群

#### 1) 道東海域

(1) 来遊量: 11月上旬以降、来遊は少なく、終漁となる。

(2) 漁場: 漁場は形成されない。

#### 2) 三陸海域

(1) 来遊量: 来遊量はゆるやかに減少し、11月上旬～11月中旬は中位水準、11月下旬～12月上旬は低位水準となる。12月中旬には、終漁となる。

(2) 漁場: 11月上旬～11月中旬は宮古～金華山沖にかけての広範囲に漁場が形成される。11月下旬は宮古沖の漁場が消滅。12月上旬は金華山沖に漁場が残る。

#### 3) 常磐海域

(1) 来遊量: 来遊量は徐々に増加し、11月上旬は中位水準、11月中旬は高位水準となる。11月下旬以降は減少し、11月下旬～12月上旬は中位水準、12月中旬は低位水準となる。

(2) 漁場: 11月上旬～12月上旬にかけて、金華山～犬吠埼にかけての広範囲に漁場が形成される。12月中旬は、常磐北部の漁場が消滅し、小名浜～犬吠埼沖に漁場が残る。

### 2. 予測の概要

海 域		11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬
道東海域	来遊量					
	動向					
	漁 場					
三陸海域	来遊量					
	動向	中位減少	中位減少	低位減少	低位減少	
	漁 場	宮古～ 金華山沖	宮古～ 金華山沖	釜石～ 金華山沖	金華山沖	
常磐海域	来遊量					
	動向	中位増加	高位増加	中位減少	中位減少	低位減少
	漁 場	金華山～ 犬吠埼沖	金華山～ 犬吠埼沖	金華山～ 犬吠埼沖	金華山～ 犬吠埼沖	小名浜～ 犬吠埼沖

### 3. 漁況の経過概要

(10月中旬)

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、10月上旬を下回り、前年並みの低位水準となった。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、期前半に来遊量は多かったが、その後減少した。

##### (2) 漁場

道東海域の主漁場は、襟裳岬沖であった。

襟裳岬南～東南東沖の 80～120 海里付近(表面水温 12～15℃)。14 日夜まで大型船数隻～十数隻操業。数トン～100トン以上漁獲。

##### (3) 魚体

27～29cm モードの中型魚と 31～32cm モードの大型魚主体。他の海域よりも中型魚以下の混じりがやや多い。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、10月上旬を上回り、前年並みの高位水準となった。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、期前半に来遊量が多くなり、期後半に来遊量はやや減少した。

##### (2) 漁場

三陸海域の主漁場は、久慈沖・宮古～気仙沼沖、女川～金華山沖であった。

久慈東～東北東沖の 40～55 海里付近(表面水温 13～15℃)。12～13 日夜に大型船が数隻～十数隻操業。12 日夜は 35～100トン以上、13 日夜は数トン漁獲。

宮古東北東 10～80 海里付近～釜石東 20～80 海里付近～気仙沼東南東 60 海里付近(表面水温 12～17℃)。ほぼ連日、大型船と小型船が多数操業。船間差がやや大きく、大型船で数トンの船もあれば、100トン以上漁獲する船もある。

女川東 30 海里～金華山東 15～40 海里付近(表面水温 13～15℃)。18～19 日夜に大型船 20 隻程度と小型船数隻操業。大型船で数トン～35トン程度漁獲。

##### (3) 魚体

27～29cm モードの中型魚と 31～32cm モードの大型魚主体。

#### 3) 常磐海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量の水準は、10月上旬を上回ったが、前年並みの低位水準であった。日別 CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、期後半に来遊量が増加した。

##### (2) 漁場

常磐海域の主漁場は、金華山沖・小名浜沖であった。

金華山南東 30～55 海里付近(表面水温 16～17℃)。19～20 日夜に大型船と小型船が 10～15 隻程度操業。数トン～90トン弱漁獲。

小名浜東北東 40～45 海里付近(表面水温 16℃)。19～20 日夜に大型船と小型船が数隻操業。15～30トン程度漁獲。

##### (3) 魚体

27～29cm モードの中型魚と 31～32cm モードの大型魚主体。